

【「総合的な学習の時間」モデル事業中間報告書様式】

(モデル校名 広島県立御調高等学校)

1 学校の概要 (平成15年4月現在)

広島県立御調高等学校		課程, 学科名 (全日制, 普通科)				教員数
	1年	2年	3年	計		
学級数	2	2	2	6	23	
生徒数	62	69	60	191		

2 年度当初の「総合的な学習の時間」の課題

昨年度まで、2年次生・3年次生対象に“まなびのとびら” (本校での名称) を70単位時間 (全常勤教員がT.Tで担当)、2年次対象に“未来に生きる” (本校での名称) を35単位時間実施してきた。今年度より、新学習指導要領の本格的実施に伴い、次の2点が課題となった。

まず、“まなびのとびら” を全常勤教員で担当できなくなり、担当者数減の中で、いかに効果的な展開を実施するかということである。

次に、来年度以降“まなびのとびら” は3年次生のみ、“未来に生きる” は1年次生のみを対象とすることになる。今年度は、旧課程の2年次生に“未来に生きる” を実施したが、現1年生以降の生徒は「総合的な学習の時間」が2年次に中断するということである。

3 モデル (御調) 地域の研究課題を踏まえての御調高等学校の目標

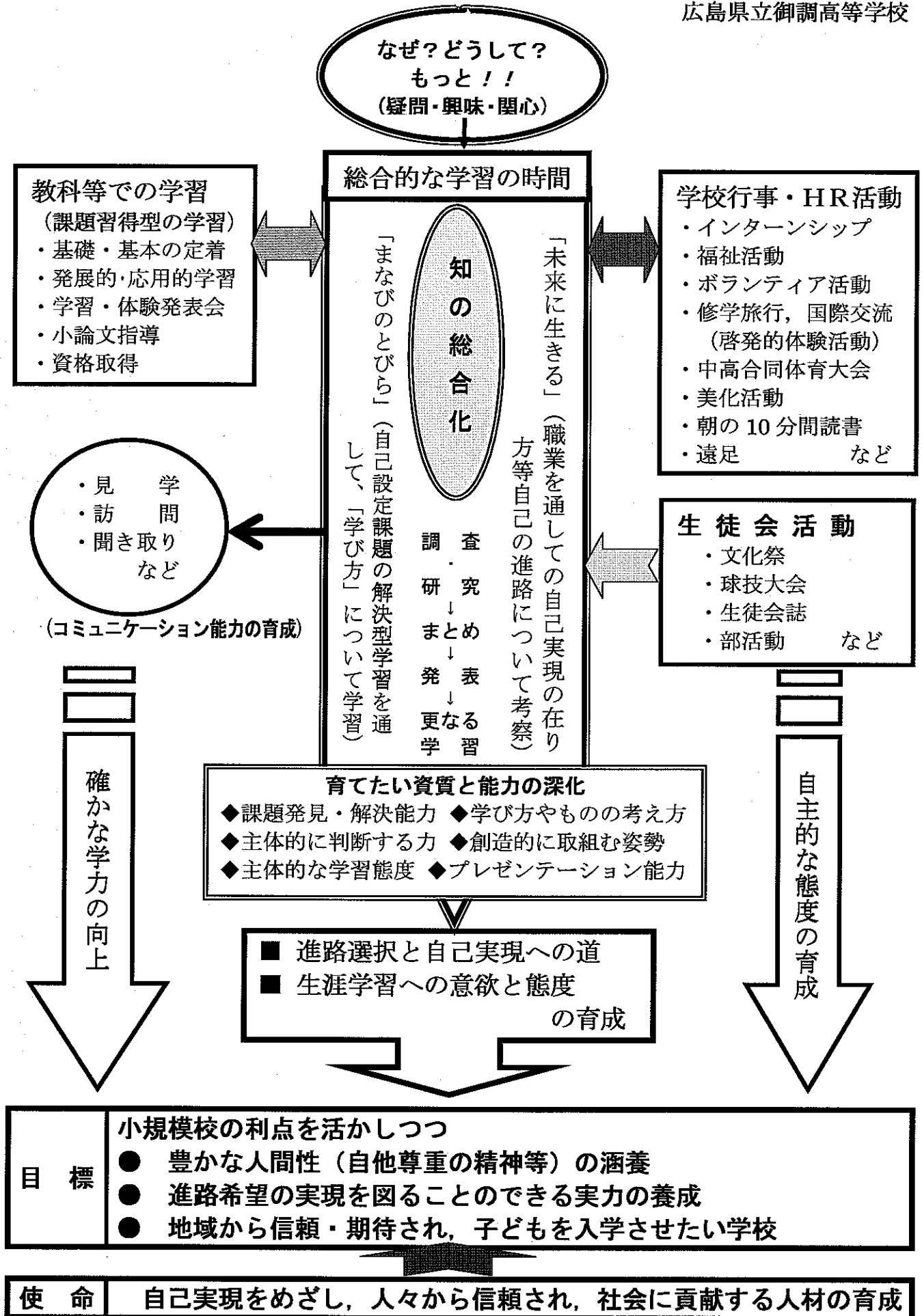
モデル地域の研究課題「総合的な学習の時間の有機的な連携の在り方」の探究を踏まえ、御調中・高の取組み内容を整理・連結するとともに、本校生徒の課題発見能力の向上により、主体的な学習態度と資質の育成・向上をめざす具体的方策を探る。

4 平成15年度取組み内容とその成果と課題

- ・“未来に生きる” における1年次職業別校内進路別説明会及び2年次大学等オープンキャンパス参加を新規に実施した (LHRとの接続)。生徒の感想文によると概ね好評であった。
- ・担当者数減にともない、“まなびのとびら” 講座代表者会 (相互の連絡・調整、発表会等の企画・立案) の他、全員参加の担当者会を開き、円滑な運営に努めた。
- ・中高の取組みの接続、高校での発展に係る体系図を作成し、高校2年次に可能な啓発的な体験学習により「総合的な学習の時間」中断の課題克服をめざすこととした。
- ・「総合的な学習の時間」の評価に係る研修会を2度実施した。
- ・“まなびのとびら” 講座「自然」での実験・観察を含む研究課題設定により、研究成果の質の向上がみられ、また、広島県立図書館において1ヶ月間、展示による学習成果の発表を行い、好評を得た。
- ・中高合同発表会参観者 (他校教員) に対するアンケート結果によると、その約9割は、“大いに参考になった”、“参考になった”であった。
- ・“まなびのとびら” の手引き書『まなびのてほどき 改訂版』を作成した。
- ・課題は、上記の体系図に係るより具体的・詳細な取組み内容の構築と、主体的学習の一層の質的向上を図ることである。

5 平成16年度取組み計画

- ・中高で育てたい6つの資質や能力を系統的・発展的に整理し、その内容を明確化する。
- ・“未来に生きる” に係る手引き書を作成する。
- ・課題設定時に適切な助言・指導を加え、課題解決型学習の進化を図る。
- ・各教科等と「総合的な学習の時間」との相互関連性を視野に入れて、取組みを進める。
- ・広島大学大学院教育学研究科小原友行教授の指導を受け、評価方法についての研究を進める。



平成16年度 1年次 「総合的な学習の時間」 年間指導計画

校番 28番 広島県立御調高等学校
(本校・分校) 全日 課程 普通 学科

実施教科・科目等及び実施対象	
名称及び単位数等	未来に生きる 1単位
対象年次・標準学級数	1年次 2学級
対象生徒数	83名
実施形態	
1授業クラス当たり担任教員数	1.5人
増加時数	1時間
授業における各担任の役割等の概要	<p>指導担当者会を組織し(1年担任(2名),進路指導部(1名)),計画・立案・実施,教材作成,実施,評価のすべてを行う。</p> <p>指導担当者会が中心となって以下のような企画を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御調町教育委員会や御調高校育英会等の地域の関係機関・団体との連携を深めながら地域講師を活用(講話)したり,地域についての調査活動や資料収集を行う。 ・保護者や地域の方々に総合的な学習の時間を理解してもらうために,様々な機会をとらえて広報する。特に,学習の成果については,文化祭等で展示・発表を行う。
学習形態の概要	・クラス単位での授業 ・合併授業 ・グループ学習(クラス枠を取り払う)
指導内容	
指導目標	我が国の産業の進展と社会の変化に焦点を当て,大きく変貌する社会の中での職業と生活とのかかわり,職業を通して自己実現の方法について考えさせるとともに,生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度の育成を図る。
指導内容の概要・進度	産業の発展と社会の変化についての理解などを通して,自己の在り方・生き方について考察する学習活動。
使用教科書(主たる教材)	指導者独自作成及び生徒収集の資料(新聞記事,インターネット情報,関連資料からの引用,論文集,図書資料等)を中心として,その他講話講師の提供資料を使用する。
補助教材(使用する場合)	なし
評価方法	<p>主体性(意欲,態度)、情報収集力、自己理解、表現力を観点とした評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマごとの自己評価,相互評価を取り入れた評価 ・ポートフォリオを利用し,学習の過程を評価 ・複数の担当者による文章評価とし,プラス志向での評価とする

月	授業時数	具体的指導内容	各担任の役割（指導方法、指導体制等の詳細）
4月	3	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション（学習目標及び内容、未来に生きるの学習の進め方等） ・高等学校での教科の学習の進め方 ・学問・職業の探査，資格についての考察 ・進路適性検査・希望調査 	資料による一斉指導 資料によるクラス別指導 検査
5月	3	<ul style="list-style-type: none"> ・進路適性検査を振り返る ・高卒後の進路を探るⅠ 	資料による一斉指導 生徒の個別作業
6月	4	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭掲示発表資料の作成 ・自己を見つめさせる（適性と将来の職業） ・職業別校内進路説明会の実施 	生徒の個別作業 資料による一斉指導
7月	2	<ul style="list-style-type: none"> ・進路情報検索の利用（職業編） ・学期末考査 	パソコンによる検索 資料による一斉指導
	0		
9月	4	<ul style="list-style-type: none"> ・高卒後の進路を探るⅡ ・求人票の見方，就職状況を知る 	資料による一斉指導
10月	4	<ul style="list-style-type: none"> ・コース選択ガイダンス（進路と科目選択） ・進路決定のプロセス ・職業と興味ある学問（学部・学科等） 	教務部・コース担当者連携 資料による一斉指導 コース説明（一斉指導）
11月	4	<ul style="list-style-type: none"> ・大学等上級学校について ・入試のタイプと評定平均値 	資料による一斉指導
12月	3	<ul style="list-style-type: none"> ・進路情報検索の利用（進学編） ・学期末考査 	パソコンによる検索 資料による一斉指導
1月	3	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文についてⅠ ・社会の変化と進路選択 ・今後の進路選択に関わる日程と目標 	国語科等との連携 資料による一斉指導
2月	3	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文についてⅡ ・2年次からの目標を立てる ・希望進路を明確にする方策 	国語科等との連携 資料による一斉指導
3月	2	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習内容の整理 ・学年末考査 ・先輩の進路決定から学ぶ 	資料による一斉指導
指導時間等計	35		

平成16年度 3年次 「総合的な学習の時間」 年間指導計画

校番 28 番 御調 高等学校

(本校)・分校) 全日制 課程 普通 学科

実施教科・科目等及び実施対象	
名称及び単位数等	まなびのとびら・2単位
対象年次・標準学級数	3年次生・2学級
対象生徒数	68名
実施形態	
学級編成の方法	各自の研究テーマに従って、大テーマごとの6講座のいずれかに所属させる。各講座の所属人数に合わせて指導者を配当。
増加時数	20時間
指導方法	講義及び講義補佐, グループ別指導, 個別指導
学習形態	グループ学習や個人研究を中心とする。大きなテーマごとの6講座から1講座を選択し, その中で, 各自(グループ)が課題設定を行う。
指導内容	
指導目標	自ら課題を発見して, 自ら解決していく学習活動を通して, 学習方法(学び方, 調べ方)を身につけるとともに, 生涯にわたって自らが学習を深めていく態度と資質を育てる。
指導内容の概要・進度	生徒が興味・関心に応じて, 設定した課題について知識や技能の深化, 総合化を図る学習活動に対して, 適宜助言を行ったり, 方向性を示唆したりする指導を行う。研究にとどまらず, 発表方法等プレゼンテーション能力の育成も図る。
使用教科書(主たる教材)	「学び方, 調べ方, まとめ方」の冊子を作成し, 使用する。自主教材, 各種研究集録, 論文集, 新聞・雑誌の記事, インターネット等の情報を活用。
補助教材(使用する場合)	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が授業ごとに調べたこと, まとめたこと等, 活動の経過や資料, 次時の学習計画, 個人内評価をファイルしたものを参考にポートフォリオ評価として活用する。 学期末の通知表には, これらの評価と講座担当者により個々の生徒の状況を文章化して評価する。

月	授業時数	具体的指導内容		
4月	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・課題の設定 ・年間計画の作成準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマや研究内容の模索 ・調べ方, 学び方の学習 	資料による一斉指導 グループ別, 個別指導 及び生徒引率
5月	6	<ul style="list-style-type: none"> ・研究内容の決定 ・面接指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画の作成 ・自主学習の開始 	グループ別指導 及び個別指導
6月	8	<ul style="list-style-type: none"> ・仮説の設定と調査, 実験等 (文化祭での状況報告) 		一斉指導 グループ別指導 及び個別指導
7月	6	<ul style="list-style-type: none"> ・調査, 実験, 交流等 ・自己評価と面接指導 		グループ別指導 及び個別指導
8月	0			グループ別指導 及び個別指導
9月	8	<ul style="list-style-type: none"> ・中間まとめ ・面接指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究計画の見直し ・自主学習 	資料による一斉指導 グループ別指導 及び個別指導
10月	6	<ul style="list-style-type: none"> ・仮説の検証と調査, 実験等 		グループ別指導 及び個別指導
11月	8	<ul style="list-style-type: none"> ・調査, 実験, まとめに向けての考察 ・報告書の作成と発表資料の準備 		資料による一斉指導 グループ別指導 及び個別指導
12月	6	<ul style="list-style-type: none"> ・研究のまとめ ・報告書の作成と発表資料の準備 ・面接指導 ・研究発表会 (中高合同全体会) 		資料による一斉指導 グループ別指導 及び個別指導
1月	6	<ul style="list-style-type: none"> ・研究発表会 (各講座内) ・事後のまとめ ・自己評価 		資料による一斉指導 グループ別指導 及び個別指導
2月				
3月				
総 授業 時数	60			